

那須塩原市議会だより

# ぎかいのひととき

3月定例会議の内容をわかりやすくお伝えします。

2023.5.20 No.102



特集

青空プロジェクト  
THE DAY  
×  
市議会

MENU

- 特集…………… P 2
- 新年度予算が決まりました… P 4
- こんなことを審査・調査しました P 6
- こんなことを聞きました… P10
- Future…………… P22



## 「おしゃれ」と「遊び」をテーマに 楽しいストリートづくりを

## 困ったことがあったらすぐに議員に 話せる仕組みがほしい



### 青空プロジェクト THE DAY とは

塩原地区を拠点に、トレイルランやマウンテンバイクといったアクティビティを通じて耕作放棄地対策や獣害対策などにつなげるという、地域創生を目指して活動を行っている団体。

### <活動を始めたきっかけとメンバー構成は？>

以前から活動したいと思っていましたが、きっかけはコロナで、野外なら活動できるんじゃないかと思い、始めました。メンバーは観光協会の職員、会社員、地域農業従事者、医療関係者、スキー場勤務者、大工などさまざまです。

### <塩原の地域の課題は？>

人より野生動物の方が多いいことから、地域おこしなど具体的な行動を実行する人が少ないことだと思います。

### <「THE DAY」の由来は？>

ウィンタースポーツ業界で最高の天気で最高の仲間たちと過ごす時間という意味があります。気の合うメンバーと一緒に過ごすこと、それが「THE DAY」です。

### <アウトドアアクティビティ活動と課題解決（野生動物との共存）のメリットは？>

獣害は農家さんだけではなく、住宅街まで猿や鹿が出没しています。人間と同じで野生動物も里に降りてきています。山間部に戻すのは難しいかもしれませんが、アクティビティを通じて獣害対策できることがメリットです。

### <活動をしている中で10年後20年後にどんな景色をイメージしていますか？>

20年後子どもたちが大人になって、ぼくたちのような活動を仕事としてとらえてもらい、もっと磨き上げて面白くやれるんだと、感銘を受ける大人がいる街だったらいいと思います。農業の担い手不足の問題もありますが、農作物のブランド力を上げ、世に広め、未来に残していきたいと思います。そして、「おしゃれ」と「遊び」をテーマに『楽しい雰囲気ストリート』にしていきたいと思います。

### <市議会や市政に対して感じていることは？>

ほかの地域では市議会議員とまちの人との距離が近い印象があっていいなと思っていました。

困ったことがあったらすぐに話せるようになると嬉しいです、近くにいてもらうと要望も言えるのでいいなと思います。

議員さんも得意分野があるので、地域ごとではなく、この問題はこの議員、こちらの問題はこの議員とつながる仕組みづくりがあればいいと思います。

### <市議会議員に望むことは？>

何をやっているのかが分かりに

くいです。農業の問題ならこの議員に言ったら解決するなど分かりやすい仕組みになればいいと思います。

### <那須塩原市全体を見てまちおこしに必要な視点があったら教えてください>

活動の一つとして三島エリアの学童保育の支援を行ったことがあり、気づきがありました。子どもたちにもたくさん塩原へ来てもらい、自然に触れることで塩原の良さを感じてほしいです。また、塩原地区が天候に関わらず子どもたちが遊べる場所でありたいと思っています。

# 令和5年度の税金の使い道が決まりました

令和5年度は、那須塩原市の今後、5年間の総合的かつ基本的な指針である「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」の最初の年度となります。那須塩原市が目指す将来像の実現に向け各事業に予算配分されました。

この予算について、議会で審査した内容と事業の一部について紹介します。

一般会計、特別会計、企業会計の9会計における予算について審査を行いました。

皆さんに納めていただく税金の使い道について慎重に審査した結果、9会計すべて原案のとおり可決しました。

## 令和5年度予算

一般会計	503億円
特別会計	225億9,087万円
企業会計	
収益的支出	53億2,116万円
資本的支出	39億6,894万円

## 総務費

- 移住・定住促進事業費 6,577万円
- 海外都市連携事業費 2,378万円
- 行政情報システム管理費 4億6,789万円
- 新庁舎整備事業費 3,781万円
- 那須塩原駅周辺まちづくり総合調整費 1,600万円
- 自治会活動振興費 5,201万円
- 住民情報システム管理費 1億7,016万円

**問** 移住・定住促進で、新幹線定期券購入補助金の内容が変わった理由を伺う。

**答** 移住した人に実施したアンケートで、新幹線補助金が移住をする契機となった話があり、他市との差別化を図るため、対象期間を3年から5年に延長した。



## 民生費 衛生費

- 地域共生社会推進支援事業費 1,784万円
- 保育園管理運営費 2億6,981万円
- 民間保育施設等整備支援事業費 2億9,724万円
- ごみ減量化対策事業費 2,453万円
- 脱炭素社会構築推進費 4億6,546万円
- 新型コロナウイルス感染症対策費 3,084万円

**問** 病児・病後児保育施設広域利用の内容と、施設がどこにあるのかを伺う。

**答** 病児・病後児保育とは、保護者が就労して

いる場合等において、お子さんが病気の際に自宅での保育が困難な場合に、保育所等で一時的に預かる事業である。那須塩原市では、大田原市にある金丸こども園を広域利用しており基本分、加算分を合わせて60万6,000円を負担している。



**問** 森林環境整備促進基金、積立金3,406万円の内容を伺う。

**答** 毎年国から交付される森林環境譲与税を一度積み立てるもので、森林の整備、人材育成、普及啓発などに使用していく予定である。

- 中山間地域活性化事業費 5億1,275万円
- 牛乳等による地域活性化推進事業費 314万円
- 就農促進事業費 2,537万円
- 堆肥センター管理運営費 5,680万円
- 有害鳥獣対策費 2,247万円
- 農観商工連携推進事業費 1,284万円
- 観光施設管理運営費 5,282万円
- 商イベント支援事業費 2,881万円
- まちなか交流センター管理運営費 3,680万円
- 企業誘致事業費 1億8,428万円

## 農林水産業費 商工費



**問** 西三島地区ゾーン30既存更新の内容を伺う。

**答** ゾーン30とは路線ごとの単体ではなくエリア全体で30キロの速度規制を適用するもので、先行実施している西三島一部エリアでの効果や地元住民

- 都市計画道路3・3・4号東那須野東通り道路改良事業費 2,304万円
- 道路除雪対策費 4,296万円
- 防災・安全交付金事業費 1億4,361万円
- 住宅総務費 1,013万円
- 空き家等対策事業費 1,651万円
- 市営住宅維持管理費 6,409万円

の要望も踏まえて、エリアの拡大を警察と協力して進めるものである。

## 土木費



**問** 部活動支援員は何人採用することを想定しているか伺う。

**答** 令和5年度は、7校でそれぞれ指導員を2名ずつ14名を予定しているが、1名ずつ14校になる

- 箒根学園整備事業費 8億1,685万円
- 公民館総務費 7,359万円
- 公民館施設整備事業費 8,204万円
- スポーツ振興費 2,259万円
- 小中学校ICT事業費 1億2,293万円
- 那須地区消防組合負担金 18億2,651万円
- 消防団活動費 1億6,023万円
- 消防団施設・設備管理費 2,298万円

こともある。4月に学校の意向調査を行い調整する。

## 教育費 消防費

## こんなことを審査・調査しました

※ ◎は委員長、○は副委員長

### 総務企画常任委員会

【審査分野】市政全般、自治会、情報システム、防災、税など  
【委員】◎山形紀弘○中里康寛、鈴木秀信、星宏子、相馬剛、鈴木伸彦、中村芳隆、山本はるひ、玉野宏

#### オンライン申請ができるよう条例を制定しました

**問**「那須塩原市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例」の制定について、この条例が制定されることにより市民生活は変わるのか。

**答**今回の条例制定は、オンライン申請のための土台となる根拠をつくるもの。今後、手数料などの条件を整備し、個別手続きのオンライン化については、順次所管課が進めていく。

#### 那須塩原市消防団の定員、任免、給与、服務（ふくむ）規定が一部変わります

**問**災害以外の出動とはどういったものか。

**答**操法訓練、警戒活動などで、細かく規定した基準をつくり対応する。

**問**出動時に会社を休まなくてはならないとして、従事時間7時間45分以上の8,000円というのは妥当な金額なのか。

**答**消防庁が1日当たり8,000円を標準額としており、これに合わせたもの。

#### ◆議員間討議

- ・出動時に仕事を休み、損したと感じてしまうと、消防団員を増やそうという試みと逆行する。何か市として考慮してもらいたい。
- ・日中の仕事を休むことがあるので、補償する制度を市独自でつくったほうがいい。



### 福祉教育常任委員会

【審査分野】福祉、子育て、教育、文化、スポーツなど  
【委員】◎森本彰伸○星野健二、三本木直人、林美幸、小島耕一、佐藤一則、大野恭男、齋藤寿一、金子哲也

#### 教育のより一層の振興を図ります

**問**学校給食を円滑に運営する具体的な取り組みとして給食費滞納対策の強化とあるが、現在の滞納額と滞納者数を伺う。

**答**滞納額は令和4年度で約790万円で、滞納者数は約100人である。滞納対策強化としては、昨年できた債権管理条例と滞納対策の管理マニュアルに基づいて取り組みを進めている。

**問**学校評価や学校評議員制度の充実で、コミュニティスクールを導入するという点で、今後5年間で導入する思いと考え方を伺う。

**答**令和6年からコミュニティスクールの導入を検討する。学校協働本部が立ち上がった中学校区ごとに設置していきたい考えで、協働本部が全ての中学校区で設置し終わったタイミングでコミュニティスクールも整備していきたい。

#### ともに助け合い支え合い心豊かに安心して暮らせる那須塩原市を目指します

**問**相談支援の充実と分野横断的な包括的支援体制の整備の考え方について伺う。

**答**重層的支援体制整備の柱である地域共生社会を実現するために、縦割りではなく、横串でもどこでも、何でも丸ごと受け止めるよう取り組んでいく。

**問**地域共生社会推進支援事業の市の取り組みとして、要保護児童対策協議会や児童相談所等が関わる困難な事例の場合、市全体として協力する仕組みになっているのか伺う。

**答**相談の最初の窓口がそれぞれの担当である。必要に応じて要保護児童対策協議会に上がり、さらに全体的な関わりや相談が必要なものについては重層的支援会議にあがってくる仕組みである。



### 建設経済常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、農業、観光、環境、水道など  
【委員】◎田村正宏○益子丈弘、堤正明、室井孝幸、齊藤誠之、平山武、松田寛人、眞壁俊郎

#### 木の俣園地駐車場の支払いが機械式になります

**問**機械化にすることによって、どのような効果を狙っているのか伺う。

**答**今までは朝と夕方に職員による現金の収受が必要であり、市役所から現場まで朝晩の収受に行っていた人的負担が大きく減らせる。また、料金を徴収してなかった期間にも車の利用台数を確認できることで、今後の駐車場の管理運営の検討を進める資料としたい。



#### 旧黒磯清掃センターの煙突が解体されます

**問**一般廃棄物処理基本計画に旧清掃センターの記載があるが、今後の対応について伺う。

**答**旧清掃センターの建屋は、倉庫や書庫として一部利用している。センターの煙突については、現在のところ耐震的に問題はないが、景観上また想定外の地震の発生による倒壊の危険性を加味して解体することになった。



### 予算常任委員会

【委員】◎山形紀弘 ○森本彰伸 ○田村正宏、その他全議員

#### 地域通貨アプリの導入を目指します

**問**デジタル政策総合調整費委託料の地域通貨導入についての内容を伺う。

**答**自治体マイナポイントなどのポイントを対象とした地元商店で使える地域通貨アプリの導入を目指している。将来的にはプレミアム商品券や市が発行する共通商品券もデジタル化したい。

**答**基金を活用した事業で、積算の根拠は4つあり、1つはスタートアップ枠に10万円を5団体50万円、2つめは子ども食堂の運営枠で、1日開設すると7,500円、年間36回、15団体を想定しており405万円、3つめは子ども食堂の開設枠で10万円、5団体で50万円、4つめは子ども食堂拡充枠として、子ども食堂に加えて学習支援などを行う団体に交付するもので、5カ所で50万円である。

#### 青木地区にゼロカーボン街区構築を開始します

**問**青木地区ゼロカーボン街区構築支援事業の対象先選定の根拠について伺う。

**答**令和8年度までに青木地区全域を整備する事業の初年度ということで、一般住宅600件、事業所約30件、酪農家64件のうち、一般住宅の太陽光、蓄電池の導入補助として74件7,492万5千円、事業所6件分1億4,094万円、酪農家4件分1億8,360万円を想定している。

#### 子ども食堂を支援します

**問**子育て支援活動等助成の積算根拠と内容について伺う。





討論

令和5年度  
那須塩原市一般会計予算

**賛成** ●経常収支比率が依然高い水準にあり、硬直化の改善が課題となっているが、第2次総合計画に基づく将来像の実現に向け、持続可能な財政運営を確保しつつ、限られた財源を最大限に有効活用し、社会的要請に的確に対応する予算編成となっている。(中里 康寛議員)

**反対** ●地域公共交通で、ドア to ドアのデマンド交通につながる「自宅から送迎する」モデル事業の策定は評価できるが、食品等の物価高の中、子ども医療費の完全無償化、保育料の無償化、学校給食費の無償化等、子育て支援に必要な予算が十分でないことから反対する。(堤 正明議員)

令和5年度  
那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算

**賛成** ●令和5年度予算については、保険料や公費負担による広域連合納付金、医療費等の保険給付費の推移を見込み、総額14億3,996万2千円の予算を計上しており、市が後期高齢者医療事務を進めるために必要な予算であると判断する。(星野 健二議員)

**反対** ●後期高齢者は、低所得の中で受診控えがあり社会問題にもなっている。負担増に歯止めをかけなくてはならない。市として、栃木県後期高齢者医療広域連合に、独自の医療費軽減を求めることが必要であると考え。本制度に反対すると共に、本予算に反対する。(堤 正明議員)

令和4年度  
那須塩原市一般会計補正予算(第12号)

**賛成** ●那須高林産業団地、地中障害物に係る損害賠償額の補正予算の財源は、国県等の補助金もなく、突発的な支出への対応として、財政調整基金を取り崩すことはやむを得ない判断である。迅速な対応で、企業への弁済及び保証をし、信頼を取り戻すことが必要である。(齊藤 誠之議員)

**反対** ●予算1億2千万円は、那須高林産業団地で発見された規定外の石に対する損害賠償として市が支払うものであり、今後、規定外の石を持ち込んだ原因者を特定し、損害賠償請求を行うとしているが、その回収見込みが立っていない現在、立替払いを意味する支出に反対する。(堤 正明議員)

令和5年度  
那須塩原市国民健康保険特別会計予算

**賛成** ●被保険者数の減少や過年度実績額を見込んだ保険税額の推移、県基金の活用による保険事業費納付金の減額、医療費等の保険給付費の推移を見込み、前年度当初と比べ0.7%減額。医療給付状況、保険事業費納付金などを分析し、適切な財政運営のための予算と判断する。(林 美幸議員)

**反対** ●子どもの数に応じて保険税が増える均等割額は、子育て世帯の大きな負担となっており、収入の無い子どもに賦課すべきではないと考える。また、市独自に子どもの均等割額の減免を18歳まで拡大することが必要だと考えることから本予算案に反対する。(堤 正明議員)

令和5年度  
那須塩原市介護保険特別会計予算

**賛成** ●第8期那須塩原市高齢者福祉計画の最終年に当たり、計画の着実な実現に向けて円滑で安定した事業運営を行うため精査して計上したものであり、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう充実が図られてきた。(佐藤 一則議員)

**反対** ●特別養護老人ホームで速やかな入所が必要である93人について、第9期高齢者福祉計画策定の中で内容を調査・精査するとしたことは今後に期待をする。財政調整基金を原資に現在の基準額5,400円を見直し、市民の負担軽減を図るべきと考える。(堤 正明議員)

損害賠償の額の決定及び和解について  
(議案第51号、議案第52号)

**賛成** ●市は、解決に向け方向性を示し懸念の払拭に努めている。まずは、用地提供者の責任を誠意を持って対応することで企業との信頼回復、将来の市民雇用の機会拡大、地域産業の振興をけん引することが何より優先され重要である。本案はそのために必要と考えるため賛成する。(益子 丈弘議員)

**反対** ●那須高林産業団地の分譲済み区画の地中障害物によって工事費用増額等の損害を与えたものとして相手方に賠償金を支払うとあるが、原因者が特定されておらず、県土地開発公社の責任も明らかではないので、現時点での損害賠償の支払いと和解に反対する。(堤 正明議員)

陳情の審査結果

No.	受理年月日	件名	陳情者氏名	結果
1	令和4年11月17日	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守るための陳情	基本的人権を守る栃木県民の会 代表 増淵 賢一	不採択
2	令和5年2月10日	太陽光発電設備事業に関する陳情	村井 由佳	採 択
3	令和5年2月14日	地域公共交通に関する陳情ードア to ドア方式のデマンド型交通ー	ー住みよい街づくりー「ドア to ドアを考える会」代表伊藤 武 他10名	採 択
4	令和5年2月14日	ドア to ドア方式デマンド交通の導入を求める陳情	ー住みよい街づくりー「ドア to ドアを考える会」高嶋 幸雄 他10名	採 択

各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件のみ記載しています。

会派名	那須塩原クラブ										公明クラブ			敬清会			志絆の会			かがやき	農業と環境の会	日本共産党	採決結果		
	林美幸	室井孝幸	森本彰伸	益子丈弘	山形紀弘	中里康寛	齊藤誠之	佐藤一則	相馬剛	松田寛人	中村芳隆	齋藤寿一	鈴木秀信	田村正宏	星野健二	星宏子	平山武	大野恭男	玉野宏					小島耕一	鈴木伸彦
陳情第2号	■太陽光発電設備事業に関する陳情																							採 択	
議案第9号	■令和5年度那須塩原市一般会計予算																							可 決	
議案第10号	■令和5年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算																							可 決	
議案第11号	■令和5年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算																							可 決	
議案第12号	■令和5年度那須塩原市介護保険特別会計予算																							可 決	
議案第50号	■令和4年度那須塩原市一般会計補正予算(第12号)																							可 決	
議案第51号	■損害賠償の額の決定及び和解について																							可 決	
議案第52号	■損害賠償の額の決定及び和解について																							可 決	

【○】は賛成 【×】は反対



那須塩原クラブ  
齊藤 誠之議員



令和5年度市政運営方針及び当初予算について

**問**「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」について伺う。

**答**市長 市民がデジタル化の恩恵を受けられるように、例えば窓口に来て書類申請をしていたものが、書かなくてもよいように、行政手続きがオンラインからできるように取り組みたい。また、電子母子手帳アプリや、高齢者の孤立防止や、フレイル予防としてオンラインによる通い場の開催など、地域における必要なDXを今後も進め、行政サービスの利便化を図っていききたい。

**問**箒根学園の校舎整備が行われているが、令和5年度は体育館整備の予算が計上され、そちらをもって整備は終了するとのことだが、箒根学園以外の、他の学校施設の整備について伺う。

**答**教育部長 今後の整備の予定として、新規の建替えを予定している建物は、令和5年度に大山小学校の体育館の設計について予算を計上している。

**問**新たにつくられる基金について伺う。

**答**市長 今回、新たに設置する学校教育情報化推進基金及びスポーツ健康まちづくり基金は、それぞれ、学校のICT環境及びスポーツ振興の充実を図るために実施する各種事業の財源として活用することとなるもので、その原資としては、ふるさと寄附や決算剰余金、その他の寄附を予定している。



オンライン申請



公明クラブ  
田村 正宏議員



時代の変化を見据えた全世代型社会保障の構築と地域共生社会の実現について

**問**高齢者の移動手手段確保のための現状について伺う。

**答**市長 那須塩原市として、運行しているゆーバス・ゆータクの他に運転免許証自主返納者に対する支援として20,800円分の共通乗車券の交付、移動手手段の確保が困難な70歳以上の在宅の高齢者に対する年間35,000円分のタクシー利用券の交付などを実施している。

**問**高齢者外出支援タクシーの助成金額は、一律ではなく地域特性を勘案し格差を設ける考えはあるか伺う。

**答**市民生活部長 今後、ゆータクの見直しと合わせて外出支援タクシーの在り方についても検討したいと考えている。

**問**市として課題解決のために、自家用有償旅客制度や高齢者の移動支援のための自家用車による有償ボランティアなどに対する支援をする考えはあるか伺う。

**答**保健福祉部長 現在、市としての支援の方向性は未定であるが、地域包括センターや社会福祉協議会と情報の共有に努めている。

**問**将来の行政コストの削減や生活利便性の向上また、人道的見地から居住誘導エリアを見直す考えはあるか伺う。

**答**建設部長 都市計画マスタープランや立地適正化計画の来年度からの改定に合わせ評価検証してまいりたい。



志絆の会  
眞壁 俊郎議員



令和5年度市政運営方針について

**問**市民サービスの利便性の向上について伺う。

**答**紙の申請書の記入はいらさない書かない窓口や、行政手続きのオンライン化による来なくてよい窓口の取り組み、子どもの成長記録やワクチン接種の記録を管理できる電子母子手帳アプリや障害に応じた相談先、支援制度、施設等の情報を一元化した障害者サポートアプリの導入などに取り組む。

**問**令和5年度的那須塩原駅周辺整備事業及び新庁舎整備事業について伺う。

**答**那須塩原駅周辺は、ビジュアルイメージの具現化に向けインフラ整備の手法や財源検討を進めながら、民間事業者や市民に意見を聞く機会を設けていきたい。那須塩原駅周辺まちづくりの中心となる新庁舎には、令和9年度の建設完了に向け、プロポーザル選定委員会で基本設計、実施設計を行う委託業者を選定し、基本設計に着手する。

令和5年度当初予算について

**問**一般会計歳入予算の内訳について伺う。

**答**市税は、企業業績の回復や消費の持ち直しを見込み、前年度比2%増となる191億1,288万1,000円を見込んだ。地方交付税は、総務省が作成した令和5年度地方財政対策を参考に積算し、前年度比11%増となる59億円を見込んだ。

**問**一般会計歳出予算の内訳について伺う。

**答**重点推進テーマ別の内訳として、ニューノーマルに約3億7,000万円、デジタル・トランスフォーメーションに約11億8,000万円、ゼロカーボンに約20億7,000万円、県北拠点づくりに約9億3,000万円を計上した。



敬清会  
大野 恭男議員



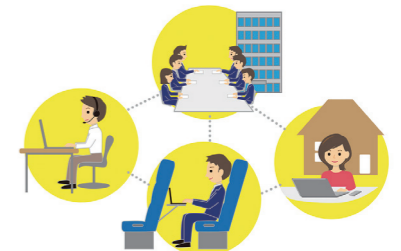
令和5年度市政運営方針について

**問**那須塩原市の現状と課題をどのように捉えているか伺う。

**答**市長 コロナ禍でかなり社会が変わってきた。デジタル化の必要性など地域を含めさまざまな分野で二極化が進み、急激に社会が変わってきているので対応していかなければならない。人口について、5年連続で転入超過であるが、自然増減でいうと出生数がコロナ禍で激減している。トータルで見ると微減である。転入超過もコロナ禍による一過性のものかもしれないので社会増減と自然増減、どのような変化がみられるか、今後注意が必要である。一方、コロナ禍で東京一極集中の是正の流れ、分散化社会がみられるということで、地方分散の受け皿となるべく那須塩原市のエッジを作っていかなければならない。その為に、4つの重点テーマを設定し、持続可能なまちづくりを行っていききたい。

**問**人口減少に歯止めをかける一つの方法として若者・女性に魅力的な雇用の創出が重要かと思うが市の考えを伺う。

**答**産業観光部長 人口減少の課題対応の一つとして、雇用創出は必要不可欠であると認識している。コロナ禍において、浮き彫りとなった東京一極集中から地方分散化への動きを捉え、オフィス整備費補助金制度によるサテライトオフィス勤務など多様な働き方を支援し企業誘致に取り組んでいる。また、個人の起業に際しても、創業支援事業を商工会と連携して実施している。今後も個人の状況や、ライフスタイルに合わせた多様な働き方を支援することで、若者や女性に魅力的な雇用の創出が期待されると考えている。





山形 紀弘議員



新型コロナウイルス感染症について

問 市民向けPCR検査の検証と移行後について。
答 保健福祉部長 2年1か月の間で延べ5,821件の検査実績、月平均232件の利用があり感染不安解消や感染拡大防止に十分な役割を果たした。
問 学校での生活や行事等について。
答 教育長 行事等は原則としてコロナ禍前と同様の対応となり、マスクの取扱いは個人の判断を尊重し、着脱を無理強いしない。今後ともマスク着用の有無が偏見や差別、いじめなどにつながらないよう児童生徒への適切な指導を行っていく。

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会について

問 本市に与えた経済効果について。
答 市長 来場者数は延べ2万9,000人、宿泊者約9,000人、宿泊者の消費支出は約3億6,000万円。事業費としては23億8,000万円を支出した。主に市内の事業者に発注をしたことによって経済活性化に繋がったと感じている。
問 スポーツ合宿誘致と差別化について伺う。
答 スポーツ施設の減免、合宿費用支援、交通費支援など本市独自の支援も考えないと選ばれない。本市はスポーツ施設も多くあり、観光や食など恵まれている資源をプロモーションしていきたい。
問 国体のレガシーを活かした中学校でのゴルフ部設立について伺う。
答 教育部長 地域の特性を活かした特色ある部活動として捉えている。今後、部活動の地域移行もあるが地域スポーツ環境の一つとして、ゴルフについては施設や指導者の問題や環境整備などを今後検討する。



鈴木 秀信議員



こども基本法の施行と本市の取り組みについて

問 こども基本法の施行に伴い、「市町村こども計画」を策定する計画はあるか伺う。
答 子ども未来部長 国や県の動向を踏まえて、「市町村子ども計画」の策定や新たな施策について検討していきたい。
問 こども施策の策定・実施・評価に当たっては、施策の対象となるこどもの意見を反映させるために必要な措置を講ずるとあるが、考えを伺う。
答 子ども未来部長 子どもの意見反映を図る上でどのような対応をとる必要があるか今後検討を要する。
問 子どもの権利については学校生活でその権利を行使する場の設定が必要と考えるが、校則や部活動の全員加入の原則の見直しは考えているか。
答 教育長 本市として校則についてしっかりと議論し、自分たちで決め、自分たちで守るという方向に進んでいる。部活動の全員加入の原則については、部活動の地域移行も始まるため、現在の状況は変えていかなければならないと思う。
問 学校管理下外でのいじめ対応について市はどう考えるか。
答 子ども未来部長 学校以外のいじめについては、「子どもの権利条例」の救済委員会という制度で対応する。
問 学びの保障の観点から文部科学省が進める「不登校特例校」の事業に手を上げる意思はあるか。
答 教育長 本市では、不適応教室を2カ所設置しており、不登校のお子さんのニーズに合わせた対応をしている。さらに内容を精査し進めていきたい。事業参画については研究する余地はある。



佐藤 一則議員



農林業の活性化について

問 農家数の推移について伺う。
答 産業観光部長 平成27年と令和2年の比較で総農家数が2,820戸から2,490戸と330戸の減少している。
問 農家数が減少している要因について伺う。
答 産業観光部長 市のアンケート調査によると、第一に後継者等の担い手不足、続いて、機械の更新に多額の費用がかかる、労力にあった収入が得られない等が離農の理由に挙げられている。
問 農業生産基盤の強化について伺う。
答 産業観光部長 那須塩原ブランド認定制度を平成22年度に制定し、現在25品目が認定、東京白金台の(株)八芳園のMuSuBuという広場でPR活動等周知啓発に努めている。また、園芸作物振興事業補助金、農業機械、施設等の導入費用の一部補助としての農地利用効率化等交付金などの国庫補助金事業を活用して支援している。
問 遊休農地の再生対策について伺う。
答 産業観光部長 農業委員及び農地利用最適化推進委員の指導、助言による営農の再開や農地の保全管理により、解消に取り組んでいる。
問 里山整備等の支援について伺う。
答 産業観光部長 県の補助事業で、とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業があり、野生獣被害軽減の除草刈りを行う団体を支援している。
問 支援を受ける手続きについて伺う。
答 産業観光部長 交付対象者を森づくりを行う活動団体と定めており、組織化が必要である。市の農林整備課を窓口として手続きをする。今後は市のホームページ等でも広く周知していきたい。



山本 はるひ議員



災害時の情報配信について

問 ネット環境のない市民にとって、災害時の情報はどう伝えられているか、今後の対応策は。
答 市長 独居高齢者が増えているので防災ラジオ、防災情報配信サービスの活用、自主防災会や自治会での会員同士の呼びかけなど行っていきたい。みるメールと公式LINEの登録目標は25%だが、そこまで達していない。先日、狩野公民館で防災訓練を行った。公民館単位で住民の方々にも意識を高めて、取り組みも今後進めていきたいと思う。
問 防災ラジオの状況と防災行政無線サービスの復活について伺う。
答 総務部長 防災ラジオは現在984台貸出している。防災行政無線サービスは、ラジオを使ったものに切り替えたので市での復活はない。

エシカル消費の考え方について

問 市の取り組みの現状、推進について伺う。
答 市長 持続可能なまちづくりを目指す本市でも重要な取り組みのひとつと考えている。多くの人にエシカル消費が浸透するように理解と実践を呼び掛けていきたいと考えている。
問 今後、エシカル消費の学習内容を積極的に取り入れていくことを考えているか。
答 教育長 主に社会科や家庭科で取り扱うことになっている。児童生徒が自主的かつ合理的に行動する自立した消費者となれるよう、今後もエシカル消費の観点に触れながら、消費者教育を進めていきたい。

エシカル消費とは...
地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、特にゴール12「つくる責任つかう責任」に関連する取り組み。私たちが、社会的な課題に気づき、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考えてみるのがエシカル消費の第一歩となる。



森本 彰伸議員



人材の確保と育成について

問 高校、大学、専門学校などへの募集方法について何う。

答 総務部長 新規採用職員の募集については、主に新卒者を対象として高校や大学、専門学校への訪問や学生に対するオンライン説明会を実施している。

問 採用にあたっての多様性確保の工夫を何う。

答 総務部長 募集区分や受験資格などを工夫し、新卒者以外も受験しやすい環境づくりに努め、多様な人材の確保を図ってきた。障害者枠、教養試験を免除した自己アピール枠、教養試験に代えて多くの民間企業で用いられている試験、SPI試験を取り入れた人材活躍枠、これらを設けている。

問 人事評価と処遇について何う。

答 市長 本市の人事評価は、人材の育成をそもそも目的として行っている。具体的には、仕事に対する取組姿勢、意欲を評価する能力評価を年1回、業務目標に対する成果、達成度を評価する業績評価を年2回実施し、その都度、評価結果を本人にフィードバックすることで、職員のモチベーションの確保や能力の向上につなげている。

問 新しく作る基本方針のポイントについて何う。

答 市長 那須塩原市を取り巻く社会状況の変化等を踏まえ、時代に即した人材評価を図るため、現在、見直しを進めている。求められる職員像を「自ら考え行動し、市民から信頼され、感謝される職員」と掲げ、その実現に向け、係長級以上と主査級以下の職員とで求められる能力を分けた上で、キャリアステージに応じた人材育成を進めることをポイントとしている。



林 美幸議員



ヤングケアラー支援を推進するための施策

問 ヤングケアラーに係るピアサポート、同じ悩みを持つ人たちで支え合う活動に対する本市の関わりについて何う。

答 子ども未来部長 ヤングケアラーの当事者だった人や福祉関係者で組織するヤングケアラーを支援する団体と連携会議を設置して関わり始めた。今後は、市はピアサポートとの関わりをはじめとするヤングケアラー支援の仕組みづくりなどについて、団体と協議していきたく考える。

問 ヤングケアラーに係る福祉と教育の連携について、家庭内のデリケートな問題にはどのように誰が必要な支援につなぐことができるのかを課題である。ヤングケアラーを含む複合的な課題について、個別ケースのほかに子どもを取り巻く環境調整に必要な会議や協議体が必要かと思うが、現時点での現状と課題について何う。

答 子ども未来部長 実態調査からも分かるように、子どもたちは悩みを自ら話すことが難しい。そのため、周りにいる大人が子どもの抱える問題に気づくことが必要である。協議体については、ヤングケアラー協議会との連携会議を昨年度立ち上げた状況で、課題については、この協議会に参加してくれる団体を増やしていくことである。

問 福祉と教育の連携として、多様な主体でケース検討が必要と考える。発達支援システム等に関わりのある、医療がつなぐ福祉と教育の連携が必須と考えるが、市の見解を何う。

答 子ども未来部長 多様な機関と連携をすることが大切である。現場で、危険な信号が発見できる医療機関とつながることも非常に大切である。



中里 康寛議員



地域新電力事業について

問 那須野ヶ原みらい電力は、電力供給をいつから開始するのか。

答 市長 令和5年度から開始予定である。

問 那須野ヶ原みらい電力は、那須塩原クリーンセンターからの買電をいつから開始するのか。

答 市長 本年1月から市のクリーンセンターが発電した電力の買取りを始めた。

問 どのような施設へ供給開始するのか。

答 市長 4月から公民館やクリーンセンターなど8施設に、その後本庁舎など8施設にも現行契約の満了をもって順次供給される予定である。

問 収支の見込みについて何う。

答 市長 令和5年度の収支は、収入で約8,700万円、支出で約8,100万円の差引き約600万円の収益を見込んでいる。

問 当初、令和4年10月の供給開始予定となっていたが、令和5年度からになった理由を何う。

答 気候変動対策局長 市として事業設計したときは、従来3か月程度で登録される例が多かったため、それを基にスケジューリングして最短10月で可能だろうとの予測だったが、国の審査が厳格になったため想定以上の期間を要した。

問 今年度供給する16施設について何う。

答 気候変動対策局長 4月から那須塩原クリーンセンター、黒磯保健センター、永田保育園、鳥野目第3水源、稲村公民館、狩野公民館、南公民館及びハロープラザの8施設。6月から本庁舎、厚崎公民館、鍋掛公民館、東那須野公民館、西那須野公民館、西公民館、大山公民館の7施設、8月から三島公民館、合計16施設を予定している。



益子 丈弘議員



農畜産物の利活用について

問 地元企業、観光事業者等との連携について何う。

答 市長 那須塩原ブランドを地域の事業者や観光事業者と連携し、質の高いものを作り認定している。また、整備中の道の駅「明治の森・黒磯」を食の発信基地として活用し、地域産業の振興と誘客につなげる取り組みを行っていきたい。

問 学校給食で市内産の農畜産物はどのくらいの量が使用されているのか。

答 教育部長 市内産の野菜はJAや地元直売所等から年間17種類の新鮮な野菜を、米は、全量市内産のコシヒカリで年間100t、さらには、牛乳は200mlで約194万本を使用している。

問 本市の強みである牛乳を活用し今後ミルクプラスチックなどの取り組みを行うことは、本市の目指す環境政策にも一致すると思うが考えを何う。

答 産業観光部長 牛乳のプラスチック化は新しい試みで研究段階と認識しているが生物由来で環境に配慮した製品と考える。生産者目線で考えると複雑な思いだと思うが先進技術は今後、大変有益だと考え情報収集と研究をしてみたい。

さらなる保育園等との充実について

問 保育の質を高めるための対策について何う。

答 子ども未来部長 事務負担軽減として、公立保育園や希望する私立保育園等で保育支援システムを導入し保育士の事務負担を軽減して、余裕を持って園児とふれあう時間を確保すること、現在も行っている私立保育園等での職員増員に対する補助で保育の質を高めることを進めたい。







星 宏子議員



学校における小中学生へのメンタルサポートについて

問 心の不調を訴える児童生徒への保護者や医療機関をはじめとする関係機関との連携の現状と課題について伺う。

答 教育長 学校は、心の不調を訴える児童生徒一人一人に寄り添い児童生徒や家庭が抱える悩みや問題の早期解決に向けて丁寧な対応を心がけている。保護者やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図りながら、学校内の支援活動で解決できるものか、医療機関などとの連携が必要かを見極めた上で対応に当たっている。現状は、医療機関等との連携支援に対する需要が増加傾向にあるため、より手厚い支援体制を構築していくことが課題として挙げられる。

問 市内小中学校における精神不調アセスメントツールRAMP S（ランプス）導入についての考えを伺う。

答 教育長 本市では、学習意欲やソーシャルスキル、やる気などの児童生徒の状態を多角的に知ることができるツールとして\*WEBQUを導入しているためRAMP Sの導入は考えていない。

本市の技能労務職について

問 市の第3次定員適正化計画では、技能労務職は今後不補充との方針だが、住民サービスの向上を図り、災害時の復旧即戦力として技能労務職の配置は必要不可欠と考えるが、市の考えを伺う。

答 市長 現在第4次定員適正化計画を策定しており、緊急時における対応の必要性等を考慮しながら技能労務職の所属する庁内関係課で協議する。



\*WEBQU…インターネットを使い、児童生徒の状態を多角的に知ることができるアンケートツール



室井 孝幸議員



観光行政について

問 新型コロナウイルス感染症が5類に移行する事による観光業への影響について伺う。

答 市長 これから5類になって、規制がさらに緩んでいくということで、新規の顧客を獲得しなきゃいけないと。それから、やっぱりインバウンドをもっと広めていきたいと考えている。

さらには、温泉とか自然とか、単品だけではなくて、食や食の後ろにある農業とか景観などを含めて総合産業としての観光の在り方、そういうところの検討をしていかなきゃいけないなと思っている。

問 本市のインバウンドの状況について伺う。

答 産業観光部長 外国人宿泊数については、令和元年が1万716人、新型コロナウイルス感染症の発生後となる令和2年が1,871人、令和3年が1,068人、令和4年は速報値として1,443人となっている。

令和4年の国別内訳については、タイが253人、台湾が237人、アメリカが131人、こういった順に多くなっている。地域別に見ても、アジアが878人となっており、外国人観光客の多くを占めている。

本市は国際的な認証団体であるグリーンデスティネーションズが選ぶ世界の持続可能な観光地TOP100選、こちらに2年連続で選出されており、世界的に評価されるポテンシャルを、ウィズコロナ、アフターコロナ、こういった新しい環境におけるインバウンド増加を見据えて、積極的にアピールしていきたいと考えている。



小島 耕一議員



高齢者、高校生、観光客が利用しやすい地域公共交通について

問 運転免許証返納者に対する支援の支援者数、補助額はいくらになるのか伺う。

答 市民生活部長 令和元年度141人、令和2年度55人、令和3年度43人、令和3年度の補助額は39万7,400円である。

問 運転免許証返納者への支援は何年間か伺う。

答 市民生活部長 申請してから1年である。

問 1年だと、その後の生活もあるため免許証返納をためらうと思われる。市営バスの無料乗車券を交付してはいかがか。

答 市民生活部長 ゆーバスの場合は、路線以外の方も免許返納された場合に利用する機会が限られていることから、今のところ考えていない。

問 デマンド型交通のゆータクの乗降場所について伺う。

答 市民生活部長 乗る場所は停留所に限られるが、降りる場所は路線上であればどこでも可能。

問 今回の地域公共交通計画でデマンド型交通への取り組みはどうなっているか伺う。

答 市民生活部長 令和5年度には、ゆータクの再編の案を検討することにしており、業務委託の予算も計上している。これまでのアンケートの結果を基に事業者の調整などを検討し、本格運行に結びつけていきたい。

問 ゆーバスの西那須野内循環線、外循環線は利用者数が少ない。国際医療福祉大学病院に加えて那須中央病院に行くバスをつくってはどうか。

答 市民生活部長 定住自立圏のほうで検討しており、今後も研究して参りたい。



星野 健二議員



防犯対策について

問 本市の防犯活動の実績について伺う。

答 市民生活部長 啓発活動の実施、特殊詐欺撃退機器の貸出し、防犯灯や防犯カメラ設置費補助、防犯活動団体への支援等を行っている。

問 市が設置した防犯カメラ台数、自治体が設置した防犯カメラ台数、防犯活動実施団体数を伺う。

答 市民生活部長 3つの駅等で27台、市有施設等に50台設置している。自治会が設置した防犯カメラの台数は、今年度5台の要望があり、全部で11台設置となる予定。防犯活動団体数は、令和3年9月末時点で62団体である。

問 今後の防犯対策の取り組みについて伺う。

答 市民生活部長 継続的な犯罪被害防止に向け防犯活動団体の補助金の見直しを行う。現在3年に1度の補助金交付を毎年交付に、ボランティア保険や地域に必要なチラシも補助対象に、防犯パトロールカー（青パト）を持っている団体に対して年間5万円の維持経費の補助、また、新規の団体を設立する際に5万円の補助を考えている。

高齢者、障害のある人への投票支援について

問 高齢者や障害のある人が少しでもスムーズに投票ができるように「選挙支援カード」を導入してはどうか。市の考えを伺う。

答 選挙管理委員会事務局長 選挙支援カードは投票の際に支援してほしい内容をあらかじめ記入しておき、提示することで投票のしやすさに寄与するものとする。本市においても令和5年4月9日執行予定の栃木県議会選挙から投票を支援するカードを導入していく。





埴 正明議員



市民の難聴対策について

**問** 難聴を放っておくとコミュニケーションに支障が出て認知症の危険因子になる。聴覚障害者、軽度中度難聴者、加齢性難聴者への支援、補聴器購入費用補助について伺う。

**答** 保健福祉部長 聴覚障害者への支援は補聴器の購入や修理等の費用を助成している。軽度中度難聴者で18歳未満の人、加齢性難聴者を含む事故、疾病等で難聴者となった人の支援も同様である。

介護保険サービスについて

**問** 家族の介護負担の軽減、介護サービス提供事業者と介護職員の充足等、課題が山積している。介護認定の申請と認定件数、介護保険サービスの内容と利用者数、特別養護老人ホームの数と定員・入居条件、介護保険料の軽減について伺う。

**答** 市長 介護認定については、令和3年度で申請3,930件、認定3,698件となっている。

介護保険サービスは、①デイ・サービスやショートステイなど自宅訪問や施設通所、生活支援を行う居宅サービスと、②特別養護老人ホーム、介護唐人保健施設など介護保険施設で生活する施設サービス、③グループホームなど、地域で生活を続けるための地域密着型サービスがある。

市内の特別養護老人ホームは11施設で定員は486名である。入居条件は要介護3以上であるが、やむを得ない事情がある人は特例がある。

**答** 保健福祉部長 入居待機者数は令和4年4月1日現在201名である。速やかに入所が必要な人は93名であり、第9期高齢者福祉計画の策定で進めていく。



鈴木 伸彦議員



那須高林産業団地内の地中障害物について

**問** 栃木県土地開発公社との売買契約において瑕疵担保責任期間が2年と短かったことや、入っているはずのない地中障害物を確認した後の職員の原因究明を含めた対応に対して所感を伺う。

**答** 市長 土地の売買の契約とか地質調査は私が市長になる前の話なので、正直、私個人としては、当時の空気感というのは分からない。公社から行政が土地を買うことはよくある話である。行政同士、開発公社と市であるから、全然知らない企業から土地を買っているわけでもないし、そこら辺信頼関係もあって行ったと思う。まさか、開発公社から購入した土地がそんなことになっているとは思ってもよらない。前例にのっとってその通りやってきたのかなというふうには思っている。

**問** 今回、全8区画中7区画において立地企業が決定し、うち5企業が工場等の建設工事を開始している。そのうち、現時点で企業2企業に対し損害賠償をすることで示談となった(8区画のうち、2企業分だけでも1億1,855万8,000円)。示談という聞こえは良いが、市民は何かしたわけでもないのに賠償責任を市が認めたわけである。損害賠償の財源は財政調整基金を使う。財政調整基金というのは災害とか緊急のときに使うお金で、いわゆる市民の血税である。市民は納得いかないんじゃないかと思うが市民に対して市長の所感を伺う。

**答** 市長 これから損害賠償請求も入る話なので、詳細についてのコメントは差し控えたい。できる限り市民の皆さんが納得できるようなことを導いていくのは当然の話だと思っている。



三本木直人議員



接骨木における養鶏場の新規事業計画について

**問** 現在の申請状況について伺う。

**答** 企画部長 令和5年1月12日に栃木県土地利用に関する事前指導要綱に基づく事前協議書の提出が市にあった。

**問** 養鶏場は、汚水・排水の特定施設の対象外とされていることについて伺う。

**答** 市民生活部長 養鶏場からの排水は、豚舎や牛舎と比較して排水量が少ないことから対象外にされていると考えている。

**問** 養鶏場からの雨水排水の処理に関する規制について伺う。

**答** 産業観光部長 雨水排水の処理については、森林法による林地開発許可基準に基づいて確認を行うことになっている。

**問** 計画地内にある国有地の払い下げについて伺う。

**答** 建設部長 当該箇所は、事業者から払い下げの事前協議があり、現地確認の結果、道としての機能が喪失している状況であることから払い下げに支障がないと判断し、申請手続きに必要な条件の提示を行った。

**問** 地域における生活環境への影響についてどう考えているか伺う。

**答** 市長 地域住民の不安や心配の解消に努めてまいりたい。事業者に対しては、協定の締結を働きかけていきたいと思っている。

**問** 本計画の那須野が原西部田園空間博物館事業への影響について伺う。

**答** 市長 直接的な影響はないと思うが、大規模な拡張であるので、イメージを損なわないよう働きかけていく。

市議会からのお知らせ

なしおふれあいトーク  
議会報告会&意見交換会を  
開催します。

開かれた議会を目指すため、議会では毎年報告会及び意見交換会「なしおふれあいトーク」を開催しています。

今回の意見交換テーマは以下の2つです。事前申し込みは不要。お気軽に会場へお越しください。

**日時** 令和5年6月10日(土)  
午後1時30分～午後4時

**会場** 東那須野公民館

意見交換テーマ

- ① 少子化対策について
- ② 社会の多様性について



昨年のなしおふれあいトークの様子

本会議において審議された議案の結果（報告案件は除く）は次のとおりです。

議案番号	件名	結果
同意第 1号	那須塩原市副市長の選任について	同意
同意第 2号	那須塩原市教育長の任命について	同意
同意第 3号	那須塩原市監査委員の選任について	同意
同意第 4号	那須塩原市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
同意第 5号	那須塩原市教育委員会委員の任命について	同意
議案第 1号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第11号）	可決
議案第 2号	令和4年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	可決
議案第 3号	令和4年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 4号	令和4年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第6号）	可決
議案第 5号	令和4年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第6号）	可決
議案第 6号	令和4年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計補正予算（第4号）	可決
議案第 7号	令和4年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第 8号	令和4年度那須塩原市下水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第 9号	令和5年度那須塩原市一般会計予算	可決
議案第10号	令和5年度那須塩原市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第11号	令和5年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第12号	令和5年度那須塩原市介護保険特別会計予算	可決
議案第13号	令和5年度那須塩原市温泉事業特別会計予算	可決
議案第14号	令和5年度那須塩原市墓地事業特別会計予算	可決
議案第15号	令和5年度那須塩原市産業団地造成事業特別会計予算	可決
議案第16号	令和5年度那須塩原市水道事業会計予算	可決
議案第17号	令和5年度那須塩原市下水道事業会計予算	可決
議案第18号	那須塩原市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について	可決
議案第19号	那須塩原市歯及び口腔の健康づくり推進条例の制定について	可決
議案第20号	那須塩原市学校教育情報化推進基金条例の制定について	可決
議案第21号	那須塩原市スポーツ健康まちづくり基金条例の制定について	可決
議案第22号	那須塩原市行財政改革推進計画審議会条例の一部改正について	可決
議案第23号	那須塩原市一般職の任期付職員を採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	可決
議案第24号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第25号	那須塩原市手数料条例の一部改正について	可決
議案第26号	那須塩原市立箒根中学校整備基金条例の一部改正について	可決
議案第27号	那須塩原市公民館条例の一部改正について	可決
議案第28号	那須塩原市元気アップデイサービスセンター条例の一部改正について	可決
議案第29号	那須塩原市国民健康保険条例の一部改正について	可決
議案第30号	那須塩原市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議案第31号	那須塩原クリーンセンター長期包括運営事業者等選定委員会条例の廃止について	可決
議案第32号	那須塩原市木の保育園条例の一部改正について	可決
議案第33号	那須塩原市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
議案第34号	第2次那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	可決
議案第35号	第3次那須塩原市行財政改革推進計画について	可決
議案第36号	那須塩原市新庁舎建設基本計画について	可決
議案第37号	第2期那須塩原市一般廃棄物処理基本計画について	可決
議案第38号	第2次那須塩原市地域公共交通計画について	可決

議案番号	件名	結果
議案第39号	第4期那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画について	可決
議案第40号	第4期那須塩原市健康いきいき21プランについて	可決
議案第41号	那須塩原市農業振興計画（元気アップアグリプラン）について	可決
議案第42号	那須塩原市住宅マスタープランについて	可決
議案第43号	第2次那須塩原市道路整備基本計画について	可決
議案第44号	那須塩原市生活排水処理基本構想について	可決
議案第45号	第2期那須塩原市教育振興基本計画について	可決
議案第46号	第2期那須塩原市スポーツ推進基本計画について	可決
議案第47号	指定管理者の指定期間の変更について	可決
議案第48号	那須塩原市と那須地区広域行政事務組合との黒磯水処理センターにおけるし尿等共同処理の用に供する施設整備に関する事務の委託に関する協議について	可決
議案第49号	那須塩原市介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決
議案第50号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第12号）	可決
議案第51号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第52号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
議案第53号	令和4年度那須塩原市一般会計補正予算（第13号）	可決
議案第54号	那須塩原市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
議案第55号	那須塩原市介護保険条例の一部改正について	可決
発議第 1号	那須塩原市議会基本条例の一部改正について	可決
発議第 2号	那須塩原市議会議員政治倫理条例の一部改正について	可決
発議第 3号	事務執行の適正な運用を求める決議	可決
発議第 4号	那須塩原市議会取組実行計画について	可決

市議会レポート

滑川市議会との交流事業を行いました

令和5年4月13日、14日に那須塩原市と姉妹都市である富山県滑川市へ訪問し、視察及び滑川市議会議員との議員交流を実施しました

滑川市のほたるいかミュージアムの視察や令和5年4月23日にオープンする、物販店舗のほか備蓄倉庫や避難スペースなどさまざまな機能を持った複合施設「メリカ」の視察を行いました。



# Future

～わたしの夢～ No.23

槻沢小学校 6年

## わた べ 渡部 き さ 嬉咲さん

### 大切な命を守る獣医師になりたい

**私**の将来の夢は獣医師です。私は動物が大好きなので犬を飼っていました。だけど、だんだん弱ってきて、私が2年生くらいのときにヘルニアという病気で亡くなってしまい悲しかったです。

動物も大切な一つの命をもっていて、私たちと同じこの世界に生きていると思いました。そのときから、私は動物たちのけがや病気を治せる素敵な獣医師になりたいと思うようになりました。もちろん獣医師になるには、資格を取らなくてははいけません。たくさん勉強して、動物の命を救える日が、いつか来るといいなと思っています。



嬉咲さんはいつも元気で明るく過ごしています。また、笑顔で挨拶したり、代表委員として活躍したり、字をととても丁寧に書いたりして、みんなの手本となっています。夢の実現に向けて、将来の目標に向かって頑張る嬉咲さんを推薦します。

(推薦者 新保 仰先生談)

議 会 暦						
日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
			本会議 再開	本会議 会派代表質問	本会議 一般質問	
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 一般質問			本会議 一般質問	本会議 一般質問・議案質疑	
11	12	13	14	15	16	17
	常任委員会					
18	19	20	21	22	23	24
			常任委員会	常任委員会		
25	26	27	28	29	30	
			予算常任委員会 議員全員協議会	本会議 散会		

※上記の日程は予定です。今後変更になる場合があります。  
本会議、常任委員会は、午前10時開会予定です。

## 第17回議場コンサート

- とき 6月1日(木)  
9時30分～9時50分
- ところ 市役所本庁舎4階議場
- 演奏者 ベタースタンス  
(アコースティックユニット)
- その他 入場無料(予約不要)

那須塩原市議会だより  
令和5年5月20日発行

発行／那須塩原市議会 編集／広聴広報委員会  
〒325-8501 那須塩原市共聖社108番地2  
Tel0287(62)7181 Fax0287(62)5378

## 編集後記

日頃より「ぎかいのひととき」をお読みいただきありがとうございます。那須塩原市議会では、議員の任期である4年間のうちの2年が終了し、本誌を編集している広聴広報委員会のメンバーも改選の時期となりました。次号から新しい委員が編集を担っていきます。今後も議会活動を発信するツールとして、皆様に手にとってもらえるよう読みやすい議会だよりの発行に努めてまいりますので、これからも「ぎかいのひととき」をよろしくお祈いします。(議会事務局)